

# 宮ノ台式土器の研究（２）

弥生時代研究プロジェクトチーム

はじめに

昨年度は、これまでの宮ノ台式土器研究の概要をまとめ、不十分ながらも現状と課題の整理を行った。今年度は前年度の課題整理に基づいて検討を進めるべきところであるが、紙幅の都合もあり、神奈川県内の宮ノ台式土器出土遺跡分布図および遺跡文献一覧表の掲載に留まることとなった。

遺跡文献一覧表は、村上が作成したものをベースとして当プロジェクトメンバーで分担して追加・削除を行い、遺跡分布図は、この一覧表を元に櫻井が原図を作成した。一覧表、分布図ともに最終的な確認と仕上げを飯塚と渡辺が行った。また、遺跡分布図に対応して、神奈川県内の「宮ノ台式」期（弥生中期後半）遺跡分布の傾向について渡辺が概要をまとめた。（池田）

## 宮ノ台式土器出土遺跡の分布と傾向

**神奈川県域の宮ノ台式土器出土遺跡の分布** 昭和4年、赤星直忠は三浦半島における弥生時代遺跡の踏査を行い、三浦市初声の道路脇土手断面に弥生時代の竪穴住居址8軒を確認した。これらの竪穴からは宮ノ台式土器の壺・甕の破片が出土している（赤星1930）。この三浦市赤坂遺跡の発見に前後して、本県における宮ノ台式土器の発見例が相次いで報告され（註1）、現在では約200例程度の出土が確認されている（第1表）。

第1図には県内における宮ノ台式土器出土例の位置と分布を示した。ここで取り扱う「各地点」には、発掘調査によって出土した資料だけではなく、試掘調査や表採による分布調査のデータの他、採集品として報告されたものを含んでいる（註2）。図中の各ドット一点は一遺跡又は一地点を示すが、土器の出土量は反映していない。また、隣接地点で複数の出土例があり、なおかつ明らかに同一遺跡のものと考えられる場合はこれを一括し、遺跡分布の実態と極力かけ離れないよう努めた。出土地点分布の濃淡は遺跡の集中を示すが、同規模のドットの集中が同規模の遺物の濃密度を反映している訳ではない点をお断りしておく。

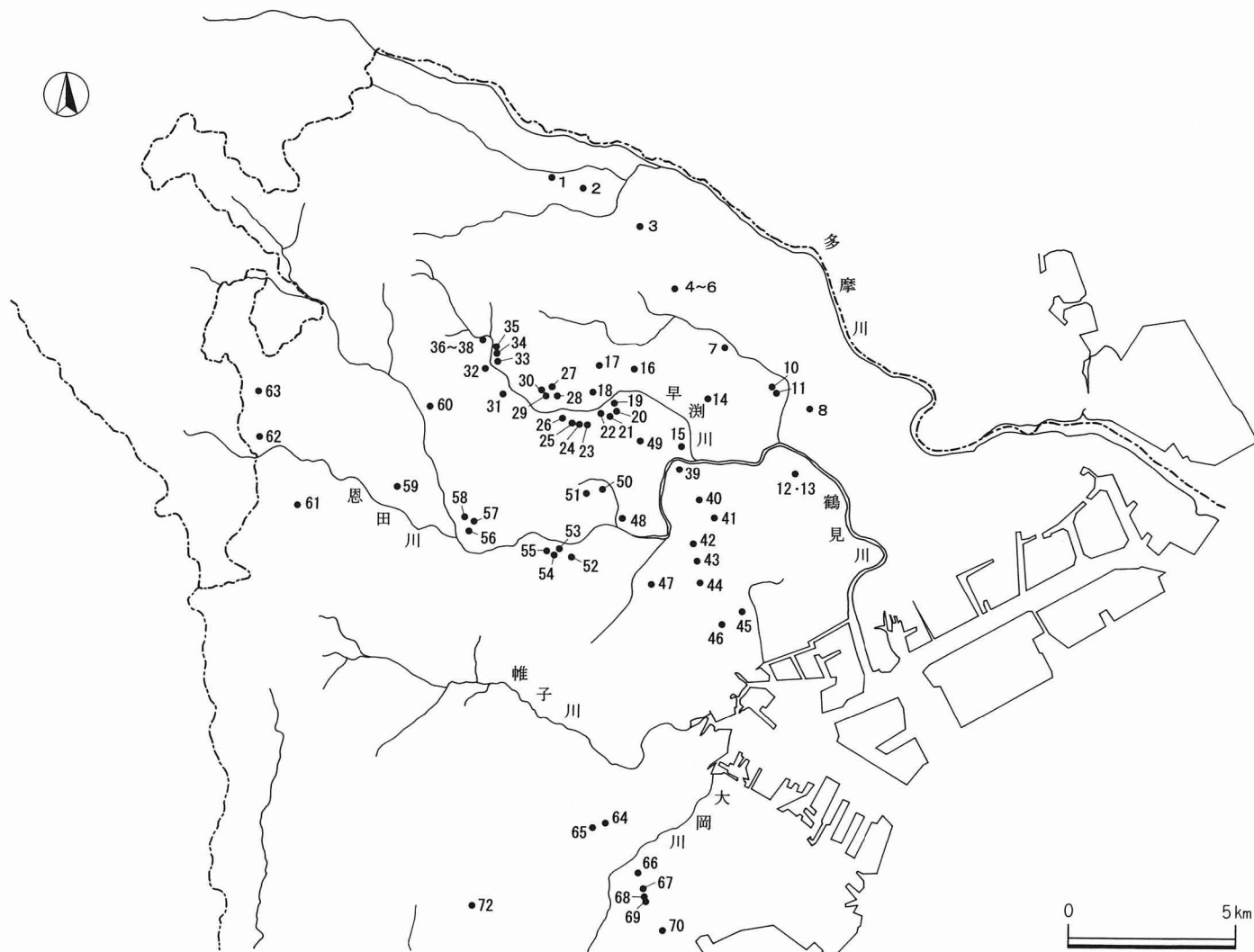
第2図は、横浜市域北部を中心とした該期の遺跡分布である。鶴見川・早渕川流域に全体の4割以上が集中し、その中には大塚・歳勝土（27・28）、折本西原（51）などの大規模集落が含まれる。このいわゆる下末吉台地での極端な集落遺跡の集中は、関東地方全域を通じても類例のない特異な状況である。

県内ではこの他、鎌倉市内の大倉幕府周辺遺跡群や藤沢市域の引地川・柏尾川流域の稻荷台地遺跡群周辺、三浦半島の平作川周辺、県央地域の厚木市内では相模川の支流である恩曾川・玉川中流域、平塚市域の花水川（金目川）流域、そして県西部小田原市域では酒匂川下流域とその東側から国府津近辺まで広がる低地帯などに分布の集中が認められる。これらの地域には、一部で大規模集落の存在が予想されている地点も存在するものの、ほとんどの場合は断片的な調査例や採集資料等を通じて遺跡の全体像を予想せざるを得ないのが実状である。

**遺跡分布の傾向と特徴** 当研究プロジェクトチームでは、以前に弥生時代の竪穴住居址の検出数と分布状況の分析から、県内弥生時代集落の動態について言及してきた。宮ノ台期の集落数は前段階（いわゆる須和田式土器の時期）よりも爆発的に増加し、主として台地・丘陵上に展開する傾向がみられることは集成デー



第1図 神奈川県における宮ノ台式土器出土地点の分布 [四十万分の一]



第2図 鶴見川・早瀬川流域における宮ノ台式土器出土地点の分布 [二十万分の一]

タからも明白であった。こうした急激な人口増加の要因として外来集団の関与を想定した上で、宮ノ台期の社会が形成される過程において、海岸線や河川を介して集団の動きが認められることを指摘した（弥生時代研究プロジェクトチーム1994）。その点は今回の検討においても、集落遺跡以外の遺物出土地点もまた河川流域を中心に分布することから追認できる。また低湿地・砂丘上の集落遺跡の希薄さは従来より指摘されてきたことではあるが、近年の発掘調査の成果の一つとして、こうした低地遺跡における宮ノ台式土器の出土例の増加が挙げられる。同様に山間部でも前段階から宮ノ台期への移行期の資料が僅かに出土しており、遺跡分布と立地の時間的な変遷については新たに検討しなおす段階にきているのかもしれない。

出土した土器の様相を県域全体で見た場合、前回「宮ノ台式土器の研究（1）」で提示した変遷段階のうち最も古い様相のもの（Ⅰ段階）は相模川流域でしか確認されず、県域全体に分布するようになるのはⅡ段階以降のことである。Ⅲ段階以降は分布の比率が東京湾沿岸域に偏るようになる点は従来の見解通りだが、そうした認識で今回の出土分布一覧のデータ作成のための資料調査をしていたところ、Ⅱ段階に含まれる資料が予想以上に県内各所に散見されることがわかった。今後は各遺跡における実際の出土状況を検証した上で、土器様相の時間的な変遷についての再検討へと移行するべきであろう。（渡辺）

#### 註

1. こうした宮ノ台式土器設定以前の宮ノ台式土器をめぐる経緯については、伊丹徹が型式設定前後の型式概念の推移を整理した際にまとめている（伊丹1994）。
2. 宮ノ台式土器の県内出土データの集成にあたっては、発掘調査報告書及び概報、図録類の他、県史・市町史、資料集成図録等に掲載されている実測図・写真・記述に基づいて集計した。なお、表に掲載したデータのうち、遺跡の所在地が明確でないものについては第1図・第2図に含め得なかった。

#### 参考文献

- 赤星直忠 1930 「三浦半島における弥生式遺跡の分布」『考古学』第1巻第5・6合併号  
 1977 「Ⅱ-1 弥生時代集落址としての赤坂遺跡の発見」『三浦市赤坂遺跡』三浦市教育委員会  
 安藤広道 1991 「弥生時代集落群の動態—横浜市鶴見川・早渕川流域の弥生時代集落群を中心に—」『調査研究集録』第8冊 横浜市埋蔵文化財センター  
 1998 「相模川流域における宮ノ台期の集落—その時空間的展開の素描—」『考古論叢神奈河』第7集 神奈川県考古学会  
 伊丹 徹 1994 「宮ノ台式土器研究前史」『西相模考古』第3号 西相模考古学研究会  
 弥生時代研究プロジェクトチーム 1994 「弥生時代竪穴住居の基礎的研究（1）」『神奈川の考古学の諸問題』かながわの考古学第4集 神奈川県立埋蔵文化財センター

第1表 宮ノ台式土器出土遺跡一覧表

番号	遺跡名	編集・発行組織（報文執筆者）	発行年	報文名・書名
川崎市				
1	長尾台北	長尾台北遺跡発掘調査団	1997	『川崎市多摩区長尾台北遺跡発掘調査報告書』
2	緑ヶ丘霊園	川崎市緑ヶ丘霊園遺跡発掘調査団	1995	『川崎市緑ヶ丘霊園遺跡第2地点・第3地点』
3	梶ヶ谷神明社上	高津図書館友の会郷土史研究部	1970	『川崎市梶ヶ谷神明社上遺跡発掘調査報告』高津郷土史料集第七集
4	千年伊勢山台	川崎市教育委員会	1983	「川崎市高津区千年伊勢山台遺跡発掘調査報告書」『川崎市文化財調査集録第十九集』
5	千年伊勢山台北	千年伊勢山台北遺跡発掘調査団	2000	『千年伊勢山台北遺跡発掘調査報告書』
6	伊勢山台東	川崎市教育委員会	1996	「川崎市高津区伊勢山台東遺跡発掘調査報告書」『川崎市文化財調査集録第32集』
7	井田伊勢台	日本大学文理学部史学研究室	1978	「川崎市中原区井田伊勢台遺跡遺跡発掘調査報告書」『川崎市高津区平風久保遺跡発掘調査報告書 川崎市中原区井田伊勢台遺跡遺跡発掘調査報告書』日本大学文理学部史学研究室文化財発掘調査報告第2・3集
8	加瀬台古墳群	川崎市市民ミュージアム	1997	『加瀬台古墳群の研究Ⅱー加瀬台9号墳の発掘調査報告書ー』川崎市市民ミュージアム考古学叢書3
9	南加瀬貝塚	(杉原荘介)	1968	「南関東地方」『弥生式土器集成 本編2』
横浜市				
10	日吉台	(赤星直忠・岡本 勇)	1979	『神奈川県史 資料編 20 考古資料』
11	日吉町	神奈川県立博物館	1969	『神奈川県考古資料集成 1 弥生式土器』
12	梶山	神奈川県立博物館	1968	「梶山遺跡(1)」『神奈川県立博物館発掘調査報告書1』
	〃	横浜市埋蔵文化財調査委員会	1972	「横浜市鶴見区駒岡遺跡群調査報告」『昭和46年度 横浜市埋蔵文化財調査報告書』
13	梶山北	梶山北遺跡発掘調査団	1985	『横浜市梶山北遺跡発掘調査報告書』
14	森戸原	横浜市埋蔵文化財調査委員会	1972	「港北区森戸原遺跡調査概報」『昭和46年度 横浜市埋蔵文化財調査報告書』
15	諏訪下北	諏訪下北遺跡発掘調査団	1990	『横浜市港北区諏訪下北遺跡発掘調査報告書』
16	道中坂上	横浜市埋蔵文化財センター	1990	「道中坂上遺跡」『全遺跡調査概要』
17	B 8	横浜市埋蔵文化財センター	1990	「B 8 遺跡」『全遺跡調査概要』
18	鵜之目原	(伊藤 郭)	1984	「港北の弥生式土器(Ⅱ)」『調査研究集録 第5冊』
19	権田原	(鈴木重信)	1987	「権田原遺跡(ル8・9)の調査《1》」『港北のむかし』84
20	北川貝塚南	(財)横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター	1997	「第四編 北川貝塚南遺跡」『屋敷の上遺跡・西谷戸の上遺跡・北川貝塚南遺跡』
21	新吉田十三塚	横浜市埋蔵文化財センター	1990	「新吉田十三塚遺跡」『全遺跡調査概要』
22	矢東	横浜市埋蔵文化財センター	1990	「矢東遺跡」『全遺跡調査概要』
23	勝田町	(安藤広道)	1990	「横浜市港北区勝田町出土の弥生土器」『利根川』11
24	狭間根	横浜市埋蔵文化財センター	1990	「狭間根遺跡」『全遺跡調査概要』
25	勝田原	横浜市埋蔵文化財センター	1990	「勝田原遺跡」『全遺跡調査概要』
26	網崎山	横浜市埋蔵文化財センター	1990	「網崎山遺跡」『全遺跡調査概要』
27	大塚	横浜市埋蔵文化財センター	1991	『大塚遺跡』港北ニュータウン地域内埋蔵文化財調査報告XⅡ
	〃	(財)横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター	1994	『大塚遺跡Ⅱ』港北ニュータウン地域内埋蔵文化財調査報告XⅤ
28	歳勝土	横浜市埋蔵文化財調査委員会	1975	「Ⅰ. 歳勝土(C7・6)遺跡」『歳勝土遺跡』港北ニュータウン地域埋蔵文化財調査報告Ⅴ
29	歳勝土南(C15)	横浜市埋蔵文化財調査委員会	1975	「Ⅲ. C15遺跡」『歳勝土遺跡』港北ニュータウン地域埋蔵文化財調査報告Ⅴ
	〃	横浜市埋蔵文化財センター	1990	「歳勝土南遺跡」『全遺跡調査概要』
30	大棚杉山神社	横浜市埋蔵文化財センター	1990	「大棚杉山神社遺跡」『全遺跡調査概要』
31	境田	(伊藤 郭・坂本 彰)	1979	「境田遺跡の調査」『調査研究集録』第4冊

番号	遺跡名	編集・発行組織（報文執筆者）	発行年	報文名・書名
32	矢崎山	横浜市埋蔵文化財センター	1990	「矢崎山遺跡」『全遺跡調査概要』
33	八幡山	横浜市埋蔵文化財センター	2002	「八幡山遺跡」港北ニュータウン地域内埋蔵文化財調査報告31
34	鍛冶山	（財）横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター	1998	『鍛冶山遺跡』港北ニュータウン地域内埋蔵文化財調査報告24
35	老馬	（財）横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター	1996	『老馬遺跡』港北ニュータウン地域内埋蔵文化財調査報告21
36	観福寺裏	日本窯業史研究所	1986	『観福寺裏遺跡』日本窯業史研究所報告第18冊
37	観福寺北	横浜市埋蔵文化財調査委員会	1989	「観福寺北遺跡」『観福寺北遺跡・新羽貝塚発掘調査報告』
38	関耕地	観福寺北遺跡調査団	1997	『横浜市観福寺北遺跡群 関耕地遺跡発掘調査報告書』
39	牢尻台	（財）横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター	1999	『牢尻台遺跡発掘調査報告』
40	太尾	（八幡一郎）	1930	「武蔵国太尾発見の遺物」『考古学』1－5・6
41	磯部山	（赤星直忠・岡本 勇）	1979	『神奈川県史 資料編 20 考古資料』
42	菊名・羽黒	菊名・羽黒遺跡調査団	1985	『菊名・羽黒遺跡』
43	表谷戸	（赤星直忠・岡本 勇）	1979	『神奈川県史 資料編 20 考古資料』
44	西富士塚	（杉原莊介）	1968	「南関東地方」『弥生式土器集成 本編2』
45	大口台	横浜市埋蔵文化財センター	1992	『大口台遺跡発掘調査報告書』
46	大口坂	（赤星直忠・岡本 勇）	1979	『神奈川県史 資料編 20 考古資料』
47	山王山	神奈川県立埋蔵文化財センター	1985	『山王山遺跡』神奈川県立埋蔵文化財センター調査報告 8
48	新羽大竹	神奈川県教育委員会	1980	『新羽大竹遺跡』神奈川県埋蔵文化財調査報告17
49	宮ノ原	横浜市教育委員会	1984	『昭和58年度文化財年報』
50	東原	神奈川県立博物館	1969	『神奈川県考古資料集成 1 弥生式土器』
51	折本西原	横浜市埋蔵文化財調査委員会	1980	『折本西原遺跡』
	々	折本西原遺跡調査団	1988	『折本西原遺跡－Ⅰ』
52	小机町・住吉神社	相武考古学研究所	1987	『横浜市港北区小机町・住吉神社遺跡』
53	宿根東	横浜市教育委員会	1994	『平成6年度文化財年報』
54	宿根北	宿根北遺跡発掘調査団	1997	『宿根北遺跡発掘調査報告書』
55	宿根西	宿根西遺跡発掘調査団	1999	『横浜市緑区宿根西遺跡発掘調査報告書』
56	宮原	佐江戸遺跡調査会	1976	『宮原 横浜市緑区佐江戸町における彌生・土師集落址の調査（下）』
57	清水場	佐江戸遺跡調査会	1971	『清水場 横浜市緑区佐江戸町における彌生・土師集落址の調査（上）』
58	能見堂	（財）横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター	1997	『能見堂遺跡』港北ニュータウン地域内埋蔵文化財調査報告22
59	藤林	日本窯業史研究所	1999	『藤林遺跡』
60	朝光寺原	横浜市域北部埋蔵文化財調査委員会	1968	「朝光寺原A地区遺跡第1次発掘調査略報」『昭和42年度 横浜市域北部埋蔵文化財調査報告書（経過概報）』
	々	横浜市埋蔵文化財調査委員会	1968	「朝光寺原遺跡C地区調査概報」『昭和43年度 横浜市埋蔵文化財調査報告書』
61	住撰	（財）かながわ考古学財団	1996	『長津田遺跡群Ⅱ』かながわ考古学財団調査報告12
62	堀之内b	横浜市教育委員会	1985	『昭和59年度文化財年報』
63	受地だいやま	奈良地区遺跡調査団	1986	『奈良地区遺跡群Ⅰ』
64	高速2号線	横浜市道高速2号線埋蔵文化財発掘調査団	1983	「No.6遺跡－Ⅲ」『横浜市道高速2号線埋蔵文化財発掘調査報告書 No.6遺跡－Ⅲ No.9遺跡－Ⅱ』



番号	遺跡名	編集・発行組織（報文執筆者）	発行年	報文名・書名
65	東台	(杉原荘介)	1968	「南関東地方」『弥生式土器集成 本編2』
66	成美学園	(小宮まゆみ)	1990	『私たちの成美学園遺跡』
67	竹の橋貝塚	(赤星直忠・岡本 勇)	1979	『神奈川県史 資料編 20 考古資料』
68	三殿台	横浜市教育委員会	1965	『三殿台』
69	三殿台南東斜面	横浜市教育委員会	1992	「三殿台南東斜面遺跡」『平成3年度 文化財年報（埋蔵文化財その10）』
70	峯	峯遺跡発掘調査団	1986	『横浜市磯子区峯遺跡群発掘調査報告書』
71	東漸寺	(赤星直忠・岡本 勇)	1979	『神奈川県史 資料編 20 考古資料』
72	そとごう	そとごう遺跡調査会	1971	『そとごう遺跡調査概報』
73	上倉田原	横浜市上倉田原遺跡調査団	1983	『上倉田原遺跡』
74	上倉田	明治学院大学上倉田遺跡調査団	1982	『横浜市上倉田遺跡』
75	上台	(杉原荘介)	1968	「南関東地方」『弥生式土器集成 本編2』
76	表谷	神奈川県立博物館	1969	『神奈川県考古資料集成 1 弥生式土器』
77	日吉本町	神奈川県立博物館	1969	『神奈川県考古資料集成 1 弥生式土器』
78	池部町	(杉原荘介)	1968	「南関東地方」『弥生式土器集成 本編2』
79	谷津田原	(杉原荘介)	1968	「南関東地方」『弥生式土器集成 本編2』
横須賀市				
80	小荷谷	横須賀市教育委員会	1994	『小荷谷遺跡』横須賀市埋蔵文化財調査報告書第3集
81	鴨居上の台	横須賀市教育委員会	1981	『鴨居上の台遺跡』横須賀市文化財調査報告書第8集
82	茅山貝塚	横須賀市教育委員会	1991	『茅山貝塚』横須賀市文化財調査報告書第23集
83	佐原城跡	(財)かながわ考古学財団	2002	『佐原城跡遺跡』かながわ考古学財団調査報告130
84	佐原泉	泉遺跡調査団	1989	『佐原泉遺跡』
85	ひる畑	(杉原荘介)	1968	「南関東地方」『弥生式土器集成 本編2』
	〃	(浅川利一・河合英夫)	1987	「横須賀市・ひる畑遺跡の調査」『第11回 神奈川県遺跡調査・研究発表会 発表要旨』
86	米の台	米の台遺跡発掘調査団	1998	『米の台遺跡』
87	大木根東	大木根東遺跡調査団	1992	『大木根東遺跡』
88	小舞原	横須賀市教育委員会	1982	『長井町内原遺跡』横須賀市文化財調査報告書第9集
三浦市				
89	赤坂	赤坂遺跡調査団	1977	『三浦市赤坂遺跡』
	〃	赤坂遺跡調査団	1992	『赤坂遺跡－第3次調査－』
	〃	三浦市教育委員会	1994	『赤坂遺跡』三浦市埋蔵文化財調査報告書第3集
	〃	(岡本 勇)	1967	「三浦市赤坂遺跡の調査」『ムゼイオン』13
	〃	赤坂遺跡調査団	2000	『赤坂遺跡－第19次調査地点の調査報告書－』
	〃	(中村 勉)	1993	「三浦市赤坂遺跡第8・9次調査概要」『第1回三浦半島地区遺跡調査発表会 発表要旨』
	〃	(中村 勉・諸橋千鶴子)	1994	「赤坂遺跡第10次調査概報、赤坂遺跡第11次調査概報」『第2回三浦半島地区遺跡調査発表会 発表要旨』
	〃	三浦市教育委員会	2001	『赤坂遺跡－個人専用住宅新築工事に伴う第18次調査地点の発掘調査－』三浦市埋蔵文化財調査報告書第6集
	〃	赤坂遺跡調査団・三浦市教育委員会	2002	『赤坂遺跡－第9次調査地点の調査報告－』三浦市埋蔵文化財調査報告書第7集
90	雨崎洞穴	(赤星直忠)	1967	「雨崎洞穴調査概報」『日本考古学年報』20
91	大浦山洞穴	三浦市教育委員会	1997	『大浦山洞穴』三浦市埋蔵文化財調査報告書第4集
92	間口洞穴	神奈川県立博物館	1973	『間口洞窟遺跡』神奈川県立博物館発掘調査報告書第7号

番号	遺跡名	編集・発行組織（報文執筆者）	発行年	報文名・書名
92	間口洞穴	神奈川県立博物館	1974	『間口洞窟遺跡（2）』神奈川県立博物館発掘調査報告書第8号
	〃	神奈川県立博物館	1975	『間口洞窟遺跡（3）』神奈川県立博物館発掘調査報告書第9号
93	海外洞穴	海外洞穴遺跡調査団	1984	「三浦市海外海蝕洞穴遺跡の調査」『第8回 神奈川県遺跡調査・研究発表会 発表要旨』
逗子市				
94	持田	（赤星直忠）	1974	「3 持田弥生・土師遺跡」『逗子市文化財調査報告書第五集』
	〃	持田遺跡調査団	1975	「持田遺跡発掘調査報告（本文篇）」『逗子市文化財調査報告書第六集』
95	池子	（財）かながわ考古学財団	1996	『池子遺跡群Ⅲ No1－C点』かながわ考古学財団調査報告11
	〃	（財）かながわ考古学財団	1997	「第3編 No.7 地点西地区」『池子遺跡群Ⅳ』かながわ考古学財団調査報告26
	〃	（財）かながわ考古学財団	1997	「No8 地点」『池子遺跡群Ⅴ』かながわ考古学財団調査報告27
	〃	（財）かながわ考古学財団	1999	「第1編 No1－E地点」『池子遺跡群Ⅶ』かながわ考古学財団調査報告43
	〃	（財）かながわ考古学財団	1999	『池子遺跡群Ⅹ No1－A地点』かながわ考古学財団調査報告46
	〃	神奈川県立埋蔵文化財センター	1994	「第3編 池子遺跡群No1－B地点」『池子遺跡群Ⅰ』神奈川県立埋蔵文化財センター調査報告27
96	池子栈敷戸	東国歴史考古学研究所	2000	『池子栈敷戸遺跡（逗子市No100）』東国歴史考古学研究所調査研究報告第26集
鎌倉市				
97	横小路周辺	鎌倉市教育委員会	1998	「横小路周辺遺跡（No259）」『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書14（第2分冊）』
98	大倉南御門	鎌倉市教育委員会	1998	「大倉幕府周辺遺跡群（No49）」『鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書14（第2分冊）』
	〃	大倉幕府周辺遺跡群発掘調査団	1999	『大倉幕府周辺遺跡群』
	〃	（及川良彦）大倉幕府周辺遺跡群発掘調査団	1990	「参考資料 大倉南御門遺跡（C地点）出土の弥生土器」『大倉幕府周辺遺跡群』
	〃	（河野真知郎）	1981	「鎌倉市雪ノ下・南御門遺跡」『第5回神奈川県遺跡調査・研究発表会 発表要旨』
99	伝安達泰盛邸跡	（菊川英政）鎌倉考古学研究所	1992	「諸戸邸内遺跡出土の土器概要」『鎌倉考古』22
100	台山藤源治	台山藤源治遺跡発掘調査団	1985	『台山藤源治遺跡』
101	水道山戸ヶ崎	（及川良彦）青山考古学会	1987	「弥生土器の移動と地域性」『青山考古』5
102	手広八反目	手広八反目遺跡発掘調査団	1984	『手広八反目遺跡発掘調査報告書』
103	大船山居	鎌倉市教育委員会	1967	『鎌倉市大船山居遺跡発掘調査報告』
藤沢市				
104	二伝寺砦	東国歴史考古学研究所	1999	『二伝寺砦（藤沢市No215）遺跡』東国歴史考古学研究所調査研究報告第21集
105	柄沢十二天	藤沢市教育委員会	1969	「藤沢市柄沢十二天遺跡調査略報」『藤沢市文化財調査報告書第五集』
106	川名清水	東レ基礎研究所・清水遺跡発掘調査団	2000	『藤沢市川名清水遺跡発掘調査報告書（東レ基礎研究所内）』
107	大源太	大源太遺跡発掘調査団	1997	『片瀬大源太遺跡発掘調査報告書（ミネベア藤沢製作所内）』
108	若尾山	藤沢市立大道小学校内遺跡埋蔵文化財発掘調査団	1998	『若尾山（藤沢市No36）遺跡－藤沢市立大道小学校内地点－発掘調査報告書』東国歴史考古学研究所調査研究報告第16集
109	稲荷台地U地点	藤沢市教育委員会	1978	「稲荷台地U地点遺跡調査略報」『藤沢市文化財調査報告書第十三集』
110	稲荷台地M地点	藤沢市教育委員会	1965	「稲荷台地遺跡調査報告」『藤沢市文化財調査報告書第二集』
111	石名坂	石名坂遺跡発掘調査団	1979	『石名坂遺跡』
112	No61	藤沢市教育委員会	1997	「No61遺跡」『藤沢市文化財調査報告書第32集』
113	伊勢山	藤沢市史編さん委員会	1970	「18 伊勢山遺跡」『藤沢市史 第一巻』
114	稲荷引地脇	藤沢市史編さん委員会	1970	「20 稲荷引地脇遺跡」『藤沢市史 第一巻』
115	善行唐池	（馬目順一・原 信之）	1963	「神奈川県藤沢市発見の弥生式土器」『考古学雑誌』48－4
116	大庭築山	藤沢市教育委員会	1981	「大庭築山遺跡調査概報」『藤沢市文化財調査報告書第十六集』
	〃	藤沢市史編さん委員会	1970	「21 大庭築山遺跡」『藤沢市史』第一巻



番号	遺跡名	編集・発行組織（報文執筆者）	発行年	報文名・書名
茅ヶ崎市				
117	折戸	新湘南国道埋蔵文化財調査会	1985	「折戸遺跡－新湘南国道No 1 地点－」『新湘南国道埋蔵文化財調査報告』
118	小和田・宿	(富永富士雄)	1997	「小和田・宿遺跡の調査」『第7回茅ヶ崎市遺跡調査発表会』
119	白久保A	(財) かながわ考古学財団	1999	『白久保遺跡』かながわ考古学財団調査報告60
120	西方A	茅ヶ崎市埋蔵文化財調査会	1988	『下寺尾西方A遺跡』茅ヶ崎市埋蔵文化財調査報告1
	〃	茅ヶ崎市教育委員会	1994	『下寺尾西方A遺跡』茅ヶ崎市埋蔵文化財調査報告7
121	西方C	茅ヶ崎市埋蔵文化財調査会	1988	『西方C遺跡』茅ヶ崎市埋蔵文化財調査報告2
122	上ノ町	新湘南国道埋蔵文化財調査会	1985	「上ノ町遺跡－新湘南国道No 7 地点－」『新湘南国道埋蔵文化財調査報告』
123	向原（火葬場付近）	神奈川県立博物館	1969	『神奈川県考古資料集成 1 弥生式土器』
124	八図（中赤羽根）	神奈川県立博物館	1969	『神奈川県考古資料集成 1 弥生式土器』
寒川町				
125	倉見才戸	(木村 勇・田村良照)	1992	「寒川町倉見日本鉾業（株）新ひかり社宅内遺跡」『第16回神奈川県遺跡調査・研究発表会 発表要旨』
	〃	倉見才戸遺跡発掘調査団	1999	『倉見才戸遺跡発掘調査報告書－第3次調査－』
126	行安寺	(杉原荘介)	1968	「南関東地方」『弥生式土器集成 本編2』
	〃（行安寺裏）	神奈川県立博物館	1969	『神奈川県考古資料集成 1 弥生式土器』
綾瀬市				
127	吉岡	(財) かながわ考古学財団	1999	『吉岡遺跡群Ⅶ』かながわ考古学財団調査報告47
128	宮久保	神奈川県立埋蔵文化財センター	1987	『宮久保遺跡Ⅰ』神奈川県立埋蔵文化財センター調査報告15
海老名市				
129	本郷	本郷遺跡調査団	1995	『海老名本郷（X）』
130	本郷中谷津	本郷中谷遺跡調査団	1994	『本郷中谷津遺跡埋蔵文化財調査報告書－第9次調査－』
131	四大縄	海老名市No 4 7 遺跡発掘調査団	1997	『四大縄遺跡』
132	尼寺北方	国分尼寺北方遺跡調査団	1996	『国分尼寺北方遺跡－第7次・第8次調査－』
城山町				
133	川尻	(財) かながわ考古学財団	2000	『川尻遺跡Ⅱ』かながわ考古学財団調査報告69
津久井町				
134	青根馬渡	(財) かながわ考古学財団	1999	『道志導水路関連遺跡』かながわ考古学財団調査報告59
厚木市				
135	山ノ上	神奈川県教育委員会	1988	「厚木市山ノ上遺跡Ⅰ」『神奈川県文化財調査報告書第47集』
136	妻田西・白根	(中村貴代重ほか)	1996	「厚木市妻田西・白根遺跡出土の弥生土器について」『西相模考古』第5号
137	妻田中村第5地点	(林原利明・宮井 香)	1997	『厚木市妻田中村遺跡第5地点発掘調査概要報告書』
138	子ノ神	厚木市教育委員会	1978	『子ノ神』
	〃	厚木市教育委員会	1983	『子ノ神（Ⅱ）』
	〃	厚木市教育委員会	1990	『子ノ神（Ⅲ）』
	〃	厚木市教育委員会	1998	『子ノ神（Ⅳ）』
139	恩名大井	厚木市史編さん室	1985	『厚木市史 地形地質編・原始編』
140	恩名仲町	厚木市史編さん室	1985	『厚木市史 地形地質編・原始編』
141	恩名沖原	恩名沖原遺跡発掘調査団	2000	『恩名沖原遺跡発掘調査報告書』
142	下古沢駒飼	下古沢駒飼遺跡発掘調査団	1998	『下古沢駒飼遺跡発掘調査報告書』
143	船子・宮の前	(中村喜代重)	1997	「厚木市船子・宮の前遺跡」『第21回神奈川県遺跡調査・研究発表会 発表要旨』

番号	遺跡名	編集・発行組織（報文執筆者）	発行年	報文名・書名
144	宮の里	（浅川利一・河合英夫・田村良照・迫 和幸）	1988	「厚木市宮の里遺跡の調査」『第12回神奈川県遺跡調査・研究発表会 発表要旨』
145	長谷曽野	長谷曽野遺跡発掘調査団	2000	『長谷曽野遺跡発掘調査報告書』
146	小野川野	厚木パークシティ開発地域内埋蔵文化財発掘予備調査団	1975	『厚木パークシティ開発地域内埋蔵文化財分布調査報告書』
	々	歴史と文化を知る会遺跡分布調査班	1975	『厚木市遺跡分布調査報告書』（1）
147	愛名鳥山	愛名鳥山遺跡調査会	1974	『愛名鳥山』
148	愛名宮地	愛名宮地遺跡調査団	1999	『愛名宮地遺跡』
149	小野若宮	厚木市小野若宮遺跡調査団	1976	『小野若宮遺跡』
150	愛甲宮添	厚木市史編さん室	1985	『厚木市史 地形地質編・原始編』
151	愛甲宮前	愛甲宮前遺跡第2地区発掘調査団	1994	『愛甲宮前遺跡第2地区』
152	愛甲宿	厚木市愛甲宿遺跡発掘調査団	1989	『愛甲宿遺跡』
	々	愛甲宿遺跡第2地区発掘調査団	1998	『愛甲宿遺跡第2地区』
伊勢原市				
153	石田・峯	（立花 実）	1995	「石田・峯遺跡」『神奈川県埋蔵文化財調査報告37』
154	石田・細谷	伊勢原市教育委員会	1994	「2 石田・細谷遺跡」『文化財ノート 第3集』
155	高森・宮ノ越	伊勢原市教育委員会・玉川文化財研究所	2001	『高森・宮ノ越遺跡』いせはらの遺跡Ⅱ
156	三ノ宮三枚田	神奈川県教育委員会	1975	「伊勢原工業団地内発見の遺跡」『神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告8』
157	白根	（石井克己）	1974	「伊勢原市白根遺跡出土の弥生式土器と石器」『愛名鳥山』
平塚市				
158	墨染	平塚市遺跡調査会・平塚市教育委員会	1992	「第10章 墨染遺跡第3地点」『天神前・桜畑遺跡他』平塚市埋蔵文化財シリーズ21
159	四ノ宮鹿見堂	（赤星直忠・岡本 勇）	1979	『神奈川県史 資料編 20 考古資料』
	々	（菅沼圭介）	1998	「第8章第2節 市内出土の弥生時代中期後半の土器」『山王久保遺跡他』平塚市埋蔵文化財シリーズ31
160	坪ノ内	平塚市遺跡調査会	1989	「Ⅸ 坪ノ内遺跡（第3地区）」『平塚市埋蔵文化財緊急調査報告書』2
161	山王B	平塚市遺跡調査会	2002	「第5章 山王B遺跡第12地点」『御殿B／山下長者屋敷跡／御領宮／山王B』平塚市埋蔵文化財緊急報告書10
162	大原	平塚市遺跡調査会・平塚市	1988	『大原遺跡Ⅱ』平塚市埋蔵文化財シリーズ7
	々	平塚市遺跡調査会・平塚市教育委員会	1989	『大原遺跡Ⅲ』平塚市埋蔵文化財シリーズ10
163	笹本	平塚市博物館	1979	「第6章 笹本遺跡」『久保田遺跡他遺跡詳細分布調査報告』平塚市博物館資料No18
164	南原B	平塚市遺跡調査会	1998	「第5章 南原B遺跡第4地点」『山王久保遺跡他』平塚市埋蔵文化財シリーズ31
	々	平塚市博物館	1980	「第5章 南原B遺跡」『砂丘上の遺跡確認調査報告ー一丁地B遺跡他遺跡詳細分布調査ー』平塚市博物館資料No22
	々	平塚市遺跡調査会	1992	「南原B遺跡隣接地」『平塚市埋蔵文化財緊急調査報告書5』
	々	平塚市遺跡調査会	1993	「南原B遺跡第5地点」『平塚市埋蔵文化財緊急調査報告書6』
	々	平塚市遺跡調査会	1993	「南原B遺跡第2地点」『山王B・稻荷前A遺跡他』平塚市埋蔵文化財シリーズ23
	々	平塚市遺跡調査会	1996	『南原B遺跡他』
165	豊田本郷	豊田本郷遺跡発掘調査団	1985	『豊田本郷』
166	山王久保	平塚市遺跡調査会	1998	「第4章 山王久保遺跡第10地点」『山王久保遺跡他』平塚市埋蔵文化財シリーズ31
167	赤坂	平塚市博物館	1989	『赤坂遺跡発掘調査報告書』平塚市博物館資料No36
168	五領ヶ台	（小島弘義）	1985	「寄贈された弥生式土器」『平塚市文化財調査報告書第20集』

番号	遺跡名	編集・発行組織(報文執筆者)	発行年	報文名・書名
169	原口	(財) かながわ考古学財団	1997	『原口遺跡Ⅰ』 かながわ考古学財団調査報告22
	〃	(財) かながわ考古学財団	2001	『原口遺跡Ⅱ』 かながわ考古学財団調査報告104
170	沢狭	金日郵便局建設用地内遺跡発掘調査団	1998	『沢狭遺跡発掘調査報告書』
171	真田・北金目	平塚市	1983	『真田・北金目遺跡詳細分布確認調査報告』
	〃	平塚市真田・北金目遺跡調査会	2001	『平塚市真田・北金目遺跡群発掘調査報告書2 4・5・6(A～C)・7・9・10区』
172	真田城跡東堀	東海大学校地内遺跡調査団	1995	『真田城跡東堀の調査』『東海大学校地内遺跡調査団報告5』
秦野市				
173	根丸島	(赤星直忠・岡本 勇)	1979	『神奈川県史 資料編 20 考古資料』
	〃	根丸島遺跡調査団	1976	『根丸島遺跡 第一次・第二次発掘調査概報』
	〃	(伊東秀吉・杉山博久)	1985	『秦野市史 別巻考古編』
174	砂田台	神奈川県立埋蔵文化財センター	1989	『砂田台遺跡Ⅰ』 神奈川県立埋蔵文化財センター調査報告20
	〃	神奈川県立埋蔵文化財センター	1991	『砂田台遺跡Ⅱ』 神奈川県立埋蔵文化財センター調査報告20
大磯町				
175	馬場台	馬場台遺跡発掘調査団	1983	『大磯町馬場台遺跡発掘調査報告』『神奈川県埋蔵文化財発掘調査報告25』
	〃	(鈴木一男・矢野慎一)	1985	『大磯町馬場台遺跡出土の弥生土器について』『神奈川考古』20
	〃	大磯町教育委員会	2000	『馬場台遺跡 第28地点』 大磯町文化財調査報告書第43集
小田原市				
176	羽根尾堰ノ上	小田原市教育委員会	1986	『羽根尾堰ノ上遺跡』 小田原市文化財調査報告書第19集
177	宝金剛寺裏山	(赤星直忠・岡本 勇)	1979	『神奈川県史 資料編 20 考古資料』
178	三ツ俣	国府津三ツ俣遺跡調査団	1991	『国府津三ツ俣遺跡』
	〃	(財) かながわ考古学財団	2000	『三ツ俣遺跡Ⅱ (F地区)』 かながわ考古学財団調査報告80
	〃	(財) かながわ考古学財団	2000	『三ツ俣遺跡Ⅲ (G地区)』 かながわ考古学財団調査報告81
	〃	神奈川県立埋蔵文化財センター	1986	『三ツ俣遺跡』 神奈川県立埋蔵文化財センター調査報告13
179	町畑	(赤星直忠・岡本 勇)	1979	『神奈川県史 資料編 20 考古資料』
180	矢代	(財) かながわ考古学財団	2000	『矢代遺跡』 かながわ考古学財団調査報告101
181	中里	小田原市教育委員会	1997	『中里遺跡Ⅲ地点発掘調査報告書』 小田原市文化財調査報告書第61集
	〃	(戸田哲也)	1999	『No3 小田原市中里遺跡第Ⅰ地点』『第23回 神奈川県遺跡調査・研究発表会 発表要旨』
182	千代南原	小田原市教育委員会	1987	『千代南原遺跡第Ⅳ地点』 小田原市文化財調査報告書第22集
183	永塚一町畑	小田原市教育委員会	1986	『永塚一町畑遺跡の調査』『埋蔵文化財発掘調査報告』 小田原市文化財調査報告書第21集
184	下曾我	小田原市教育委員会	1986	『下曾我遺跡の調査』『埋蔵文化財調査報告書』 小田原市文化財調査報告書第21集
185	千代北町	小田原市教育委員会	2000	『千代北町遺跡第Ⅷ地点』 小田原市文化財調査報告第87集
186	上山神	(河合英夫)	1988	『上山神』『第9回 三県シンポジウム 東日本の弥生墓制』
187	山ノ神	小田原市教育委員会	1970	『小田原市山ノ神遺跡発掘調査報告』 小田原市文化財調査報告書第3集
188	久野大畑	(赤星直忠・岡本 勇)	1979	『神奈川県史 資料編 20 考古資料』
189	山神下	山神下遺跡発掘調査団	1989	『山神下遺跡』
190	多古(白山神社境内)	神奈川県立博物館	1969	『神奈川県考古資料集成 1 弥生式土器』
	〃(白山)	(杉山博久)	1970	『付編 山ノ神遺跡周辺の弥生中期の遺跡とその出土資料』『小田原市山ノ神遺跡発掘調査報告』 小田原市文化財調査報告書第3集
	〃	神奈川県立博物館	1973	『神奈川県考古資料集成 5 弥生式土器(2)』
	〃(久野白山)	(赤星直忠・岡本 勇)	1979	『神奈川県史 資料編 20 考古資料』

番号	遺跡名	編集・発行組織（報文執筆者）	発行年	報文名・書名
191	久野北側下	玉川文化財研究所	1996	『久野北側下遺跡第Ⅲ地点 発掘調査報告書』
192	久野中宿	（赤星直忠・岡本 勇）	1979	『神奈川県史 資料編 20 考古資料』
	〃	神奈川県立博物館	1973	『神奈川県考古資料集成 5 弥生式土器（2）』
193	諏訪の前	小田原考古学研究会	1971	『小田原市諏訪の前遺跡』小田原考古学研究会調査報告書2
194	久野多古境	小田原市教育委員会	2000	『久野多古境遺跡第Ⅲ地点』小田原市文化財調査報告第79集
195	谷津（小田原）	（杉原荘介）	1968	「南関東地方」『弥生式土器集成 本編2』
196	小田原城三の丸	（財）かながわ考古学財団	2002	『小田原城三の丸 杉浦平太夫邸跡第Ⅲ地点』かながわ考古学財団調査報告141
箱根町				
197	仙石原	（赤星直忠・岡本 勇）	1979	『神奈川県史 資料編 20 考古資料』